

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人 くすのき】 事業所名 【障害者支援施設 くすのき園】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし	/	38		24
床下浸水	0.5m 以下	0		0
床上浸水	1.0m	5		1
木造家屋の半数が全壊	2.0m	7		1
木造家屋の殆どが全壊	3.0m	4		0
2階建ての建物が水没	5.0m 以上	8		3
3階建ての水没	10m以上	0		18
合計	/	62		47

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・**中**・低い）

浸水：敷地内被害無。

建物被害：倒壊の恐れは少ないが、液状化による建物の歪みや壁や天井の一部が落下する恐れがある。またガラスの飛散にも注意が必要である。

- ② 進入道路等の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）

液状化の可能性が高く、道路が寸断され孤立する可能性が高い。

3. 準備状況（入所 名、職員 名を想定）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有**・無

電気	非常用発電機 屋外タンク 950 リットル、地下タンク 1800 リットル （↑稼働可能時間：70 時間分）ポータブル発電機：3 台 懐中電灯：4 台、投光器：4 台、ダイナモスウィングライトラジオ 4 台、 防災行政無線受信機（LED ライト付）5 台
燃料	公用車軽油（通常時燃料が半分以下にならないようにしている） 公用車ガソリン（通常時燃料が半分以下にならないようにしている）
ガス	なし（カセットコンロ等を検討中）
飲料水	飲料水 8 トン、貯水槽 40 トン、別にペットボトルで 636 リットル ※ただし、生活用水にも使用する。 施設利用者 62 名、職員数約 30 名（計 92 名）約 3 日分程度の備蓄
生活用水	飲料水と生活用水で 1 人あたり 3 リットル／日として、3 日分程度

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他） 有 無

主食	(非常食分) 白飯(50食)5箱 ひだまりパン2箱	非常食：92人×3日分程度
副食	焼き鳥4箱、肉じゃが2箱、LLヒートカレー3箱、野菜シチュー3箱、南瓜スープ3箱、けんちん汁1箱、豚汁1箱、和風ハンバーグ4箱、牛丼の素4箱、フルーツミックス2箱、マグロフレーク2箱、シャキッとコーン3箱、いか味付け缶4箱、アスパラ4箱、マグロステーキ4箱、紫花豆4箱、里芋鳥そばろあん1箱、切り干し大根うま煮1箱、筍やわらか煮4箱	
特別食	なし	
定期薬	入所者：未整備 通所者：未整備	
医薬品	通常使用する医薬品のストックを多めにしている	

③ トイレの準備状況

ポータブルトイレ 5台

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他） 有 無

種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	無
MCA無線	1台
無線機	無
安否確認システム	無
その他	携帯電話4台 Twitter、171災害伝言ダイヤル

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む） 有 無

支援管理システム、紙資料

⑥ BCP策定の有無（利用者の安否確認含む） 有 無

整備済み

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

残念だった備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

〇〇缶詰株式会社 おでん缶 つみれ大根入り

理由：非常に不味い事。

4. 避難場所

福祉避難所の指定を受けており、基本的には自施設であるが、建物の倒壊等で避難が必要な場合は蓮池小学校へ避難する。

5. 福祉避難所の指定

- ・受けている
- ・受けていない

以上